

件、終了した事業は71件である。

Q 生活交通路線維持費が2月補正に計上されたにも関わらず、当初予算にも計上されているのはなぜか。

A これまでは、国が12月中旬以降に補助金額を確定していたため、2月補正に計上していたが、国の補助が事前算定方式に変更されたため、新年度では当初予算に計上した。

Q 東日本大震災を受け、作り変える防災マップの配布方法について聞きたい。

A 前回同様、全戸配布を考えている。

Q 大学施設整備費にかかわり、全て合併特例債で対応すれば、大学施設整備基金は取り崩さなくてもよいのではないか。

A 基金からの繰り入れは、合併特例債を活用した上で必要になる自己負担分と合併特例債の対象外の施設整備費に充当するためのものである。

Q 現段階での防災に対する考え方について聞きたい。

A 市民の生命・財産を守るという重大な役割を果たすため、今ある体制の中で、直下型地震への対応も含めて、できることはすべてに取り組む。

Q おのみちわいわいスポット事業の概要について聞きたい。

A 主要な公共施設で、スマートフォンからインターネットに無料で接続できる設備を整備し、まちなかのにぎわいづくりと“つながるまち”としての印象づけを図るものである。

Q 保育所認可化移行促進事業の主体と実施方針について聞きたい。

A 市の方針として、平成24年度は認可保育所のない高須地区において、認可化を希望する保育所を募集し、応募した施設の支援を行い、平成25年度以降は、家庭保育所としての事業実施も尊重しつつ、全市的な取り組みを行いたい。

Q 重度身体障害者が入院された時のヘルパー支援を地域生活支援事業に組み込めないか。

A 入院中は看護が提供されるので、ヘルパーによる看護の代替行為は認められず組み込めない。

Q 身体障害者福祉法に基づき、公共施設内に身体障害者の就労支援のための場所を設けられないか。

A 障害者自立支援法に基づき、就労支援の強化に取り組んできたところであるが、身体障害者福祉法に基づいて、どのような就労支援が行えるか研究したい。

Q こども発達支援センターが福山市に設置されることになった経過について聞きたい。

A 県東部には発達支援にかかわる公的施設が未整備であり、市単独での設置

は困難なため、地元自治体が共同して県に施設整備を要望したが、実現しなかったため、関係市町で相互に協力して設置することとなった。

Q ごみ減量化にEM菌を活用することができないか。

A 尾道市公衆衛生推進協議会でEM菌等を活用した事業に取り組んでおられるので、良い事例があれば情報提供をして、相談したい。

Q 子宮頸がん等予防接種委託料にかかわり、予算額が半減した理由について聞きたい。

A 昨年1月から対象年齢層全員の予防接種に取り組んだので、新年度予算では、ワクチン未接種者分と、新たに対象年齢層に達する人数分だけの予算計上をしたためである。

Q 医師確保奨学金貸付金にかかわり、予算の内訳と奨学金貸付希望者の熱意を確認する方法について聞きたい。

A 平成23年度から奨学金を貸し付けている4名に加え、新規に4名の貸し付けを予定している。奨学金の申請書に、市内公立病院に医師として勤務する決意を記載していただくことになる。

Q 介護給付費適正化計画対応体制整備事業の内容について聞きたい。

A 県が定めた第2期広島県介護給付費適正化計画により、介護認定審査における訪問調査の直営率を上げるよう指導があり、新規の調査員を緊急雇用対策基金事業で雇用するものである。

Q 新たに農地相談員が設置される理由について聞きたい。

A 農業委員会の業務を本庁に集約することに伴い、各支所での窓口サービスの低下にならないよう、農地円滑化事業の中で全額国の補助を受けて設置するものである。

Q 農業者戸別所得保障制度推進事業の事業内容について聞きたい。

A 農家戸別補償制度の事務費が、従前はJAが窓口となる広島県水田農業推進協議会へ行っていたが、今年度からは全国農協再生会議が立ち上げられ、市が行う事業となったことによるものである。

Q アサリ資源増加対策事業覆砂工事の内容と目的について聞きたい。

A アサリの浮遊プランクトンがいかに定着するか、東尾道の地先に覆砂工事により実験区をつくってアサリを放流し、生育状況等を経年的に調査するものである。

Q おのみちの森づくり事業の今後5年間の市の取り組みについて聞きたい。

A 高見山を中心とした松枯れに積極的に活用していきたい。

Q (仮称)しまなみ海道サイクリング大会実行委員会負担金の内容について聞きたい。

A しまなみアイランドライドに代わる新たなイベントとしての負担金で、サイクリストだけではなくファミリー層を対象としたイベントを考えている。

Q 橋梁の長寿命化に関する調査結果について聞きたい。

A 市内800箇所のうち健全度1(損傷が著しく早期に修繕が必要な橋)が12、健全度2(損傷が大きく修繕を行うことが必要な橋)が24、健全度3(必要に応じ調査を実施し補修を行うべき橋)が228、健全度4(損傷が小さくおおむね健全な橋)が50、健全度5(損傷が認められない橋)が486である。

Q 尾道大橋無料化に伴い、交通量が増大する東西橋の工事内容について聞きたい。

A 新年度で東西橋の橋梁拡幅工事を行い、その後変形五差路の解消に向けて計画を進めていく。

Q 歴史的風致維持向上計画に対する市の取り組みについて聞きたい。

A 空き家対策や再生について計画を策定したい。

Q 因島消防署建設にかかる今後の予定と場所について聞きたい。

A 今回は造成にかかる概略設計をするもので、中須賀池を候補地としており、今後住民等へ説明をする予定である。

Q 軽度発達障害にかかる教員の研修方法について聞きたい。

A 特別支援教育コーディネーターの派遣や担当者への研修を開催しており、特別支援教育の公開授業をしている学校へも教員を参加させている。

Q 立志式を行う意義について聞きたい。

A おのみちさくらプランの最大の事業であり、尾道市の全ての中学2年生を対象とし、夢と志を抱く子どもの育成を目的としている。



立志式

Q 給食調理場について、現在は主に単独調理場により給食を提供しているが、共同調理場を建設すればコストが低く抑えられる。中学校での給食を行っている学校は4校あるが、共同調理場を建設すれば全ての中学校に給食を提供する